

## 退職される皆様からメッセージをいただきました

(敬称略 五十音順)



### 「退職を迎えて今思うこと」 愛知県衣浦東部保健所 木戸 美代子

県保健師として38年間の務めが終わります。最後の2年間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ニュースで頻繁に「保健師」が取り上げられ、NHKのプロフェッショナルでも地道な患者支援活動が紹介されていました。自然災害対策に続き、感染症対策という健康危機管理に対応する保健師への認識や期待はとて高くなりました。その半面、対人支援や地域支援活動を縮小せざる得なくなり、新人研修を初めとしたスキルアップ研修はリモートや中止、現場のOJTも困難で現任教育は大きな影響を受けたと思います。しかし、このような状況においても地域の健康課題解決のための保健サービスの提供や総合調整、地域保健関連施策は継続して進めていかなければなりません。部署や立場により求められるものは違いますが、この時代を経験している皆様が今回の経験も加えて、これまで同様に次の世代を育て、また、上手に支えていっていただけることを願っております。

急速な少子高齢化に伴って、これまで以上に急速に世の中の仕組みやありようが変化する社会となっていきますが、生活に関係ある他部署や関係者、地域住民、そして仲間の保健師たちと力を合わせて、やろうと思ったことを地道にあきらめず、自分の健康に留意しつつこれからも頑張っていってください。

皆様の御健康と御活躍を心より祈念しております。



### 「退職を迎えて、今思うこと」 豊田市保健部 柴川 ゆかり

昭和59年度に豊田市役所に入庁し、長きにわたりお世話になり、無事定年退職を迎えることができ万感の思いです。訪問等による個別支援に始まり、健診や予防接種、おめでとう訪問や虐待予防、そして地区担当制による地域の健康づくり、どれも思い出深い仕事です。

全国保健師長会での活動としては、平成27・28年度に東海北陸ブロック理事を拝命し、ブロック内の各県理事の方々と情報交換やブロック研修会の企画・実施などを行うとともに、全国保健師長会定例会等への出席などを通して、会長をはじめ各役員・理事の方々のエネルギッシュな発言や行動に非常に刺激を受けました。

保健師の質的な向上だけでなく、社会的周知や地位の向上、増員要求に至るまで、厚生労働省の保健指導室の皆さんと一丸となって取り組まれている姿がとても印象的で、一会員としては知り得ない取組内容に、頭が下がるばかりでした。学び多き本会会員の皆様に恵まれ成長させていただきました。

現下の新型コロナウイルス感染症への対応は、保健師等保健専門職の重要性を全国の皆様に再認識していただけたのではないのでしょうか。会員の皆様も体調に配慮しながら、社会的価値の高い保健師の仕事に自信と誇りを持って、更に発展させていただけたらと思います。本当にありがとうございました。

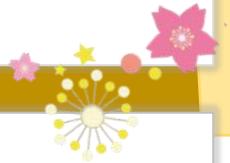
## 「退職を迎えるにあたり 感謝をこめて」 愛知県春日井保健所 白崎 節子

幼き頃の夢であった看護師を経て、その後保健師学校へ進学、平成8年4月に愛知県の保健師になりました。

新人の頃と比べると保健師業務は大きく変化しました。市町村の保健師さんと一緒に活動した、母子保健業務の事業では、健診や同道訪問、災害対策として、被災地支援、新型コロナウイルス感染症対応等、出会いも多くあり、多くの貴重な体験をさせていただきました。

特に、新型コロナウイルス感染症対策にとっては、スピーディな受援体制の必要性を感じました。災害対策同様と考え、ひしひしと肌で感じました。保健所への応援ありがとうございました。

これまで、市町村や愛知県の多くの保健師の先輩や仲間に支えられ仕事ができたと感謝しております。皆さま、ありがとうございました。



## 「人とのつながりを大切に」 愛知県保健医療局こころの健康推進室 竹島久美子

とてもとても長くて何度もやめたくなくなったこともある中で、やっと、あと少しで定年退職というところまでたどり着きました。

ここまで、こられたのは、若いときに「こんなことでやめちゃだめよ」と軽くしかりながら背中を押してくれた上司がいたから。

自分が療養休暇を取ったときは、「いいよいいよ」と仕事を肩代わりしてくれた同僚がいたから。

そして、コロナ禍で大変な今は、「私に死ねっていうこと」といいながらも、毎日夜遅くまで歯を食いしばって黙々と仕事をこなしてくれる仲間がいるから。

また、市町村保健師協議会の名簿を見ると保健師学校の同級生の名前であられています。みんなが頑張っているからといつも励みにして、クラス会の時にはたくさん話して発散して、ここまでこれたんだなあってつくづく実感しています。

コロナ禍で人と人が対面して話すことがよしとされない世の中ですが、そのような中だからこそ、人とのつながりを大切に、仲間との関係を途絶えさせることなく、どうぞ、仕事を続けてください。今まで、ありがとうございました。

## 「退職を迎えて」 稲沢市子ども健康部 長谷川 和代

昭和59年に入庁し38年、行政保健師として、地域住民の健康を守るために自分達ができることを模索しながら、定年退職を迎えました。

最後の2年間は、新型コロナウイルス感染症とワクチン接種で振り回され大変でしたが、ここまで続けられたことは、ひとえに先輩保健師、職場の同僚に恵まれ、家族の理解があったからと感謝しています。

また、保健師長会に入会したことで、県・他市の方々と出会い、貴重な情報を得ることができ、保健師の活動に対する期待や重要性を再認識する機会にもなりました。

末筆ながら、保健師長会のますますの発展と皆様のご活躍を期待しております。

皆様、ありがとうございました。

## 「退職を迎えて、想うこと」 一宮市保健所健康支援課 松川 美代子

私は、昭和 59 年 4 月に就職。当時一宮市の人口は 28 万、保健師は 6 人でした。

入職当時一宮市は、その当時でも珍しい県一宮保健所との業務提携により、県の保健所の保健師さんと共に一宮市を地区割して、すべての対象に保健師活動を行い、市の保健師であっても難病や結核の患者さんへのアプローチをしていました。若さもあり、先輩達の行動を見よう見まねで、訪問や面接をしていたように思います。先輩たちから学んだ知識や姿勢が、今の私の保健師の原点です。そして令和 3 年度、一宮市は中核市となり、新たに保健所業務を担うことになったことで、昔お会いした難病の患者さんや結核患者さんの事を、時に思い出したりするので不思議なものです。

平成 17 年度に平成の大合併で新生一宮市となってからは、急速な情報化が進み行政も保健師業務も大きく変化しました。国から県をとおして政策がどんどん降ろされ、スピーディに保健師業務を遂行、保健師はマルチに動くことが求められています。また、コロナ禍により、感染症予防での保健師の役割はマスクでも取り上げられ、今後も感染症や災害時の健康危機管理、子育て支援、虐待予防など保健師が不可欠と言われる時代は続くでしょう。保健師増員が言われる中、人材育成も重要な課題です。

重責とは思いますが、今後も皆様のご活躍により、魅力ある仕事であり続けることを願っております。



## 退職を迎えられる皆様 (敬称略 五十音順)

### <愛知県>

衣浦東部保健所 木戸美代子  
春日井保健所 白崎節子  
こころの健康推進室 竹島久美子

### <市町村>

刈谷市 大西裕子 一宮市 松川美代子  
豊田市 柴川ゆかり 稲沢市 長谷川和代  
大府市 多田桐子

\*愛知県支部で把握している方を掲載しています。

## 日頃の業績を称えられ受賞された会員の皆様 (敬称略 順不同)

### 愛知県看護功労者表彰

半田保健所 杉浦 小百合  
衣浦東部保健所 木戸 美代子  
豊橋市 牧野 忍  
豊田市 長嶋 由利子

### 公衆衛生事業功労者表彰

春日井保健所 石田洋子  
衣浦東部保健所 木戸美代子  
豊田市 加藤美法

全国政令市衛生部局長会会長表彰： 豊橋市 山本良江

結核研究奨励賞：春日井保健所 白崎節子

\*愛知県支部で把握している方を掲載しています。

# 愛知県支部研修会報告

## <第1回>

令和3年11月8日(月)から23日(祝)配信

講演「若々しく、健康&元気に長く働きたい  
～そんなあなたへのメッセージ～」(YouTube視聴)

講師：産婦人科医・スポーツドクター 宮本由記 氏

参加状況：動画視聴回数170回(16日間の計)  
月経困難症から更年期障害まで女性ホルモンの影響を踏まえた働く世代の女性の健康管理についての具体的な話を聞くことができ、自身の健康を見直す機会となりました。また、若い女性や男性にも知らせたい内容との声も多くありました。YouTubeにより都合の良い時間での視聴が可能でした。

(東三河ブロック後藤 恵子)

## <第2回>

令和4年2月5日(土)から3月13日(日)配信

講演「外国籍住民と共生する地域づくり～その課題と展望～」

講師：金城学院大学 人間科学部  
教授 朝倉 美江 氏

集合研修と動画配信のハイブリットで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、動画配信のみとしました。

YouTubeで**令和4年3月13日(日)まで**  
下記URLで視聴可能ですので、是非ご視聴ください。  
URL <https://youtu.be/6AWRx4Cu94>

(尾張東ブロック岡元 洋子)

## 令和3年度第42回全国保健師長会代議員総会及び講演報告(令和3年11月27日開催)

基調講演「大規模災害に備えた平時の保健活動～平時に力を備え、平時の活動をいかすために～」(講師：自治医科大学看護学部春山早苗教授)および特別公演「東日本大震災および原発事故による喪失とレジリエンス～多機関連携による福島県相双地区の精神保健医療福祉活動の実際から～」(講師：福島県立医科大学看護学部大川貴子准教授)はコラッセふくしま会場とWeb配信のハイブリット方式で開催されました。講演は後日YouTube配信もされました。基調講演では、「次世代につながるものが課題」という質問に対し、講師の春山教授から『コロナ対応は個別支援から組織対応まですべての要素が入っており、若い世代が一部でも経験したのは良いことであった。何を経験して何を考えたか、見方が狭くはないか。「意味づけ」をしないともったいない。中堅以上はわかるので、短い時間でも若い保健師に今回の経験を「意味づけ」することが大事になる。』という回答があり印象に残りました。また、総会の議事は書面評決の結果すべての議案について承認されました。

(名古屋ブロック塩瀬 浩子)

## 令和4年度全国保健師長会愛知県支部総会について

全国保健師長会愛知県支部規約第15条により「総会の開催には会員の2分の1以上の出席が必要」とされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の方式での開催が見通せないことから、令和4年度総会は書面開催とし、特別講演時に書面開催の結果報告をします。

### <特別講演>

日時：令和4年6月25日(土)

場所：今池ガスビル(プラチナルーム) \*ハイブリッド(後日配信)開催

講師：大阪大学大学院医学系研究科病理学教授 仲野 徹 氏